

# 磐城時報

編輯部 石城郡平町福屋町十四  
印刷部 石城郡平町福屋町十四  
發行部 石城郡平町福屋町十四  
電話 二二二二  
代金 一月三金、三月九金、半年一十六金、一年三十二金  
廣告料 一行一文字一ヶ月五拾錢  
印刷料 一行一文字一ヶ月五拾錢  
日刊(日曜、祭日、休日) 休刊

## 常磐各炭礦で 一割一分の出炭制限

### 従業員は整理せぬ

#### 入山炭礦吉田宗雄氏談

常磐各炭礦では去る二十日全國九時から同校で發會式を擧げる炭礦聯合理事會の決議に基き遂にこゝになつた、隊長は校長、隊の制限を斷行する事になつた員は高等科男兒童で火災の場合が、制限率は昨年七月から本年には消火、ポンプの綱引やその六月に至る一ヶ年間の送炭量の他同村消防組員に助力し不時の二割一分を制限する事になつた災厄に備へ活動することになつた。即ち十一月から六月までは二割二分、七月から十月までは二割一分を制限する筈であるが、この制限によつて従業員の整理は行はぬ方針である、右について入山炭礦吉田宗雄氏は語る。

「現在の出炭を制限せぬば本年暮までには全國各炭礦の出炭は三百五十萬噸となり、明年十二月までには六百五十萬噸の巨額に達し、石炭は殆ど無價値同様の値段になつてしまふ、これでは炭礦が自滅するより外途はないため出炭の制限を行ふ事になつたのである。この制限によつて明年暮になつても全國の出炭は僅か十六萬噸にしかならぬわけである。現在の石炭需要は二割を出産してゐるからこれだけを出産しないやうにするわけである。

平町地方の米穀商は昨今玄米の穀商に賣却したのでは兎角代金の相場が下つて落しに低落し一畝が滞り勝ちであり且直接精白十三圓五十錢乃至十四圓に取引販賣すれば直ちに現金化し得る。この相場に拘らず白米小賣相と共に相當利益もあるもので斯く減じてゐるからこれだけを出産されてゐるが、数日前より小名も不況の生んだ一新現象として濱町地方に隣接した泉、玉川地注目されてゐる。

## 泉、玉川の農民が 白米の大安賣り

### 米價が暴落しても 相場を下げぬ米穀商

平町地方の米穀商は昨今玄米の穀商に賣却したのでは兎角代金の相場が下つて落しに低落し一畝が滞り勝ちであり且直接精白十三圓五十錢乃至十四圓に取引販賣すれば直ちに現金化し得る。この相場に拘らず白米小賣相と共に相當利益もあるもので斯く減じてゐるからこれだけを出産されてゐるが、数日前より小名も不況の生んだ一新現象として濱町地方に隣接した泉、玉川地注目されてゐる。

## 少年消防組織

郡神谷村尋常高等小學校では教三錢で賣り捌き白米商よりは一升廿二の國勢調査の結果相馬郡中村町の人口一萬四千六百余名で男が郡下賭博の親分平町四軒町居住少年消防隊を組織、三十日午前迎されてゐる、農家としては米女より五百名も少いといふ事だ

## 中村町の人口

郡神谷村尋常高等小學校では教三錢で賣り捌き白米商よりは一升廿二の國勢調査の結果相馬郡中村町の人口一萬四千六百余名で男が郡下賭博の親分平町四軒町居住少年消防隊を組織、三十日午前迎されてゐる、農家としては米女より五百名も少いといふ事だ

## 晴れの御親閲を仰ぐ 光榮の青年達

### 石城郡内の八名決定 一行は一日夜上京

十一月三日明治節當日宮城前大金賭の花合せ賭博開帳中密行中廣場に於て行はせらるる、全國青年の平署猪狩、瀬谷兩刑事が探知年補習學校生徒の御親閲の光榮し現場に踏み込んで民造を始めに浴すべき本縣各種代表者につ同南町居住今井一(二八)を逮捕するが、外十数名は蜘蛛の子を散らすやうに逃走したので平署第一回國調の人口六千六百三十名に比し三千五十名の増加で同左の如く、行は一日夜川久保學。

## 警察署で持て余した 珍らしい二つの出願

### 鷄屠殺場と花ダケリ俱樂部

日本で最初の出願とあつて平警察署でその處置に手古摺つてゐる事件が二つある。一つは鷄屠殺場の出願で、これは平町橋小路鈴木吉房外三名が共同して出願したが縣令には牛、馬、豚の屠殺に關する規則の外定められてはゐない。この處置に困り縣にその旨を申請したが、縣でも手のつけやうがないといふので問題は、そのまゝ宙ぶらぶらの態である。

## 實地檢證と證人調べ

### 長塚の尊族殺し公判

雙葉郡長塚村精米業半谷寛に係れてゐない陳述したので辯護憲太郎が計劃して届出でた娯樂場青丹クラブで、これは青丹の名で判る通り花合せの俱樂部であるが、花合せはその道具が公然と販賣されてゐるので弄花を禁ずる事は絶対に可能であるか、平町地方では多く賭博の材料に之れを使用してゐるので、このクラブの始末をどうつけたらよいかと荒井署長が頭を絞つてゐる由

## 火の見櫓改築

四倉町字本町第三消防組に於ては小頭上澤幸吉及び山野邊政太郎兩氏發起となりて火の見櫓を工費約七千圓にて改築し此程落成をした。

## 秋刀魚大漁

石城郡四倉町字新町鈴木幸平氏所有船四十八艘は又々北海道釧路沖合にて秋刀魚の大群に合ひ十萬尾を漁捕した旨の入電あり今明中に四倉港に入港の筈であるが四倉町に於ける秋刀魚大漁は是れで第二回である。

## 明治神宮の 記念日付

來る十一月は明治神宮鎮座滿十年になるので、二等並に特定三等局に於て料金を完納したる書狀及郵便給葉書の引受に使用、但し書狀は其希望を以て郵便局窓口にし出ししたるものに限る。尚ほ料金完納の郵便書並に記念の目的を以て一錢五厘以上の郵便切手を貼付したる物件に對しては消印の需に應ずる。

### 相馬支局通信

#### 象君逃げ出す

原町乗楽園内で開演中の柴田大曲馬團の象が何事か思ひ出したか一寸の間に無断外出しやれかけた。驚いたのは同團員を八千圓の象が逃げたと、馬や自轉車で探した、遅いやうで早い、半里もある田圃で漸やく取押して一安心。象君曰く何んの一才秋晴れの田圃へ散歩したまで。とすました態、これがため一時は町内大騒ぎであつた。

#### 象想外の稲作

本年の稲作は近年稀な豊作である。増収を豫想されてゐた處原町地方では愈々刈り取つて實收額を見るに何んの増収と云ふか却つて半年以下の場合もある。結局半年作がよく行つて少々の増位だらうと農家は悲觀してゐる。

#### 鮪の大漁

濱共鮪の大漁にて大に活氣を呈してゐるが、特に原釜、磯部、鳥崎等は一段の大漁で東京方面より中通り方面へごんごん移出してゐるが、先頃の中毒騒ぎも立消えとなり賣行き良好である。

#### 相馬所調當選者

相馬税務署管内所得税調査委員は定員七名で有権者五百八十六名であつた。當選者は相馬郡中村佐藤鐵藏、鹿島町星重五郎、原町馬直記、小高半谷一意、新地照澤秀造、双葉郡より幾世橋馬場房時、木戸齋藤龍作、當選した。

#### 地代を下げよ

貴重なる本欄を拜借して感

にもつかぬ小生の意見を少々のべさせて戴きます。それは現代社會において一番甘い汁を吸つてゐる地主諸君に反省を促したい事である。勿論是れは小生一個人の考へではなく世間一般の聲ではなからうか？

▼人も知る如くあらゆる物價は著しく低落し、失業者は群をなして悲憤なる叫びを續けてゐる。家賃の値下は二回も三回も應許せざるはならぬ。いにも拘らず獨り地主諸君の態度は何うであらうか。

▼震災だらうが、物價の下落だらうが、誰か失業しようが、向又最も縁故の深い家賃が値下にならうと殆んど吾聞せず焉ではないか。僕は地主諸君が余り時代に知らぬ計りでなく何といふ厚顔無恥な、そして冷酷な人達だらうと考へて居る。

▼中には色々な事情もある人でもないとは限るまいが、今日ももう理窟なきをいつてゐる場合ではない、宜しく時代に鑑みて各自進んで速かに地代を低下しこの際温情を以て世開に臨まねばならぬ。

▼家主對借家人の争ひの如きは家主諸君が水の様な冷酷な人でない限り平氣で見てもられるものではなからぬ。地主諸君は有産階級の主となるものである。斯くの如き時代において自ら範を他に垂れらるゝ覺悟がなくてはならぬ。

▼震災當時そのまゝの地代を食ひながら平然と居てゐる地主諸君に特に反省を促したい。諸君が尚且改む事なくんばやがては自然の大鐵槌が頭上であらう。こゝに敢て地主諸君に警告する。

## カキ貝御料理

カキフライ  
カキなべ  
スカキキ

右之通り御案内申上ます

### 御料理 一の井

電話一六七番

## 耳鼻咽喉科 專

## 氣管食道科 門

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院

電話一七〇番

## 外科 一般外科 内臓外科

## 性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

### 安齊外科醫院

元赤心堂病院跡

電話四七五



## スポンジ

美味にして 強壯の効 著大

本館 菅原長命堂

錠ニビロクモヘンボツス 定 價 三

圓 二 價 定 酒 ンボツス

店 理 代

角 目 丁 五 町 平

局 藥 邊 野 山

## 黒小倉學生服

今年はウンと安くなりました  
型も新しく一裁縫も丈夫に  
皆様にホメて頂ける自信ある  
冬服を……深山備いました。

特製品 小學生用	2,000圓ヨリ
特製品 中學生用	3,000圓ヨリ

### なかや洋服店

平二 電203

## 吸入用酸素、酸素吸入器

## 正確な体温器、寒暖計

特約店 開内藥局

電話四〇番

父常松送葬の際に遠路態々御會葬被成下且つ御鄭重なる玉串料を賜はり御厚志の段奉深謝候

一々拜趨御禮可申上筈の處乍略儀以紙上御挨拶申述候

昭和五年十月二十二日

平町字二丁目

三井文吉

外親戚一同

## 債券、公債、兩替金融

### 多田井質店

平町大工町 (電話五九一番)

印刷物は……加納活版所

内科 花柳病科 小兒科 (入院應需)

### 藤沼醫院

平町紺屋町

電話平園五〇七番

## 油と味噌

### 山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番

電話(一般用)二七番

振替東京一九七五番